

令和6年度飯綱町社会福祉協議会事業報告

令和6年度においても、新型コロナウイルス感染症は介護事業所の経営に大きな影響を及ぼしました。特に、7月および12月にはデイサービスセンターふれあいの園において集団感染が発生し、いずれも約1か月間にわたり感染が続きました。感染症法上の分類は2類から5類へと移行されましたが、依然として感染予防対策の継続が必要な状況です。

このような中、社協独自の取り組みとして、福井団地地区において地域課題や生活ニーズの把握を実施しました。「誰もが安心して暮らせる地域を住民主体でつくる」という視点のもと、その成果を今後もつなげるべく、他地区への展開、積極的なアウトリーチ(※1)を推進してまいります。

介護保険事業および障がい者支援事業においては、令和6年度の介護報酬改定により訪問介護の基本報酬が引き下げられたほか、利用者の減少も重なり、大きな減収となりました。これを受けて、新たな加算取得や利用者の確保に努めてまいりました。また、データに基づくLIFE(科学的介護情報システム)(※2)の体制整備も進みつつあり、今後はこれを活用した介護予防の実践により、利用者満足度やサービスの質の向上、そして地域とのつながりを継続できる支援体制の構築を図ってまいります。

防災分野では、令和6年能登半島地震の教訓を踏まえ、福祉避難所開設訓練や防災研修を実施するなど、防災意識の向上に取り組みました。また、災害時に事業を継続するための事業継続計画(BCP)の見直しにも着手し、非常時における対応力の強化を図りました。

本年度は、新型コロナウイルス感染症による事業の縮小や利用者数の減少に加え、物価高騰等の外的要因も重なったことで、収支が大きく圧迫されました。その結果、平成24年度以来の赤字決算となり、非常に厳しい経営状況に陥っています。さらに、訪問介護員や看護師等の専門職の確保が一層困難となっており、安定的なサービス提供体制の維持が喫緊の課題となっております。

このような状況を真摯に受け止め、今後は、持続可能な介護・福祉サービスの提供を目指し、業務の効率化や経費の見直し、利用者の増加に向けた経営改善に取り組むことで、安定した運営体制の確立に努めてまいります。

※1：アウトリーチ…支援が必要であるにもかかわらず支援に繋がっていない人や地域へ、こちらから出向いて関わる支援手法。(以下同様)

※2：LIFE(科学的介護情報システム)…厚生労働省が運用する介護サービスの質向上を目的とした情報収集・分析システム。(以下同様)

1 総務課

■重点目標

第3次社協発展強化計画に基づく計画・目標の取り組みを実施します。

① 経営基盤の強化と分析の実施

- ▶事業所内の無駄を省き、ネット購入推進など徹底した経費削減を図った。
- ▶人材の有効活用を行い業務の効率化を図り、費用対効果の向上を図った。

② 人材確保と組織の活性化

- ▶職員個人面談を行い、個人個人の目標を設定する事により目指す職員像が明確になった。
- ▶管理職の職員を対象に人事評価者研修を開催し、人事評価の手法や必要性について学習した。

③ 働きやすい職場づくりに向けた取り組み

- ▶新規・中堅職員研修及びネット研修の活用。新人・内部登用者(18名)の研修を行った。
- ▶町の介護職員定着促進事業補助金等により、介護職員の定着が図られた。(6名)
- ▶町の資格取得補助金申請等により、職員の資格取得意欲向上が図られた。(3名)
- ▶社協の資格取得貸付金等により、職員の資格取得意欲向上が図られた。(1名)
- ▶職員募集チラシを町内全戸に配布。正規採用者(3名)臨時採用者(1名)の応募に繋がった。
- ▶運転適性診断の実施(27名受診)と運転適性診断結果が要注意者への法人安全運転研修

(6名参加)を実施し、交通安全意識の向上を図った。

- ▶衛生委員会主催による腰痛予防研修(85名参加)を実施、職員全員のストレスチェックを実施した。
- ▶アルコールチェッカーによる検査を実施し、事業所における安全運転の強化を図った。
- ▶職員の福利厚生として、ガソリン券の支給、健康診断・インフルエンザ予防接種、介護現場の腰痛予防対策(整体師によるマッサージ)の実施、ソウェルクラブ加入(82名)などを実施した。

④ 危機管理体制の整備

- ▶各事業所で作成された事業継続計画(BCP)を通し、必要な備品の確保、訓練を行い、非災害時における事業所の体制整備が図られた。
- ▶町保健福祉課と合同で福祉避難所開設訓練を実施し、避難所としての課題等の把握を行った。

■課題等

- ▶次世代を担う正規職員3名の採用は図れたが、適正な人員配置ができない事業所もあり、人材育成が急務となっている。今後も人材確保策を進めていく。
- ▶離職者防止として、キャリアパスに基づく人事評価制度の運用。風通しのよい職場環境を構築していく。
- ▶第3次社協発展強化計画に基づき、法人における計画・目標・経営改善を重点的に進める。

●その他 令和6年度事故等報告件数(年度別)

区 分	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
介護等事故報告	193	122	151	175
保険対応(医療機関受診)	10	15	8	17
労災申請	9	5	3	7
車輛事故報告	40	48	37	29
うち修理	11	14	18	9
苦情報告	7	10	10	8
ハラスメント報告	1	3		

- ・各事業所において事故検証を行い対策の検討をしている
- ・運営会議において事故対策委員会開催
- ・3月5日苦情解決第三者委員会を開催 苦情対応についての意見・助言をいただく

2 地域福祉課

■重点目標(事業)

地域の声を基とした、地域住民が主体となり支えあう地域の実現を目指します。

① 複雑多様化する福祉課題に早期に対応するための相談支援活動の充実

- ▶相談体制の強化、人材育成
予約相談(まいさぼ信州長野、くらしのつなぎ資金)は2名で対応し、調整可能な範囲で2名体制で対応。
- ▶アウトリーチの徹底
資金貸付や食糧支援をとおり、他の必要な支援(関係機関紹介、就労、生活保護申請支援等)へ繋ぐことが出来た反面、一時的な支援の繰り返しに止まり、生活改善に至らないケースもみられ、多様化している課題への対応が必要。
- ▶地域ニーズに対応する新たなサービスの開発
権利擁護や生活困窮、貸付に関する事業や相談窓口を広報誌で周知(12回実施)
 - ・延べ対応件数1,687件(一時相談窓口実績)
 - 実対応人数178名(年齢15歳~95歳、3分の1は年齢確認未実施)
 - ・重層的相談支援体制整備事業の支援会議に参加(6回)

② つながり隊、民生児童委員など関係機関との連携と協働による、きめ細やかな福祉ネットワーク構築の推進

- ▶つながり隊長説明会開催（47／50 地区が参加）
地域のつながりと集まることでの健康効果の重要性に加え、防災の観点からの地域づくりに関心が高く、支えあいマップ更新の希望あり。
 - ・学習会&健康づくり教室（24 回）、食事会（28 回）
 - ・住民支えあいマップ更新（23／50 地区）
 - ・マップを活用した訓練（16／50 地区）
 - ・民生児童委員会の情報交換会に参加
 - ・ふれあいぼけっとにつながり隊周知の記事を掲載

③ 健康づくり及び生活支援サービスの充実・強化

- ▶通いの場の再建と有償たすけあいサービスの普及
 - ・通いの場は参加者数が微増したが、参加者からは参加者の減少や高齢化による継続の不安感が生じており、バックアップ体制を整えたい。
 - ・有償たすけあいサービスは相談・訪問数、チケット精算数ともに増加したが、サービスにつながらないケース（院内付き添いや買い物代行など）も多く、見極め方や住民のエンパワメントを図る視点も重要。

■総合的企画

- 1 ふれあい広場の企画実施 【11/2】 250 名
- 2 福祉フォーラムの企画実施 【8/24】 130 名
テーマ 私が認知症になっても〇〇〇ができる飯綱町へ
- 3 飯綱町地域福祉活動計画の推進（令和 3 年度～令和 7 年度）
- 4 つながり隊の事業推進（災害時住民支えあいマップの更新、訓練実施）
災害時住民支えあいマップ（更新 23 地区、訓練実施 16 地区）
- 5 住民主体による高齢者の居場所づくりの財政支援
介護予防通所サービス（B 型）立上げ支援事業 立ち上げ地区には 50,000 円補助
実績なし
- 6 相談体制の機能強化
自立相談支援（生活就労支援センターまいさば）の相談窓口
日常生活自立支援事業（成年後見支援） 2 件 新規契約 0 件 終了 0 件
金銭管理・財産保全生活サポート事業 10 件 新規契約 5 件 解約 9 件
法人後見事業 2 件 R6～契約 2 件 R6 終了 2 件
生活困窮者支援
 - ・生活福祉資金貸付業務
緊急小口資金 0 件 0 円
総合支援資金 0 件 0 円
教育支援資金 5 件 2,144,000 円
生活福祉資金返済者等サポート業務
 - ・飯綱町くらしのつなぎ資金の貸付業務 26 件 429,820 円

金銭管理事業件数の推移

事業	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度	令和 3 年度	令和 2 年度
日常生活自立支援事業	2 名	3 名	3 名	6 名	5 名
金銭管理・財産保全生活サポート事業	19 名	22 名	14 名	14 名	7 名
緊急小口資金貸付	0 件	0 件	3 件	10 件	25 件
総合支援資金貸付	0 件	0 件	3 件	24 件	27 件
教育支援資金	5 件	2 件	1 件		
つなぎ資金貸付	26 件	13 件	3 件	9 件	3 件

相談件数の推移（詳細は別紙）

	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度	令和 3 年度	令和 2 年度
新規相談件数	63	51	57	60	87
対応実人数	217	186	170	156	176
対応延べ件数	5,647	4,942	4,225	4,598	4,388

フードバンク支援

293 件

フードパントリー 【12/28】

46 世帯（107 名）

7 社協会費の募集 賛助会員 4 企業

8 飯綱町多世代交流施設「メーラプラザ」管理運営

9 積極的な訪問活動による潜在的ニーズの把握と支援までの調整

■高齢者福祉

- 1 交流事業（わらび会）の開催 5 回 延べ参加者 195 名
- 2 年末お弁当配達事業 139 食 お弁当配達は民生児童委員の方が協力
- 3 いきいきサロンの推進 34 地区 延べ開催回数 382 回 延べ参加者 3,611 名
- 4 シニアクラブ連合会への協力 親睦研修旅行【7/23・24】 富山県方面 参加者 28 名
- 5 引きこもり高齢者の支援事業 男性高齢者のつどいの場「男笑室」
12 回 延べ参加者 80 名

■障害者福祉

- 1 北部地区障害者自立支援協議会への協力
サービス調整会議 5 回 協議会委員会 1 回 だべろう交流会 2 回
- 2 飯綱町障害者 J V 会議への協力
- 3 身体障害者福祉協会への協力 ふれあいの旅【10/31】 昼神温泉方面 参加者 25 名
- 4 手をつなぐ育成会への協力 視察研修旅行【7/20】 弥彦神社方面 参加者 12 名
- 5 共同募金福祉車両貸出事業 延べ貸出回数 217 回（40 世帯）
- 6 車椅子の貸出事業 延べ貸出回数 17 回（12 人）

■青少年健全育成及び福祉教育

- 1 があたく塾の開催 4 回
主な活動（川遊び、とれたて野菜でピザ作り、綿半祭りのあて出店、雪上運動会）
- 2 高校生ボランティア活動の支援（アルミ缶プレス） 活動回数 6 回
- 3 総合的学習の授業への協力 協力回数 21 回
- 4 社会福祉協力校の指定（小学校 2 校・中学校 1 校・高校 1 校） 連絡会議 1 回
- 5 幼児・児童・生徒との各種交流の促進
囲碁ボール交流会（北部高校生、男笑室、シニアクラブ連合会）
ひまわり里親プロジェクト、絵手紙交流会（北部高校生、絵手紙結いの会）

■ボランティア及び住民活動の振興・育成

- 1 ボランティアセンターの運営 ボランティア連絡会運営委員会 3 回実施
- 2 ボランティア活動・市民活動等への相談及び活動のコーディネート
- 3 ボランティア養成講座の開催 傾聴ボランティア養成講座 1 回
- 4 ボランティア連絡会への活動支援 ボランティア活動展開催【2/20～2/24】
延べ来場者 110 名
- 5 ボランティアセンター運営委員会の開催 0 回 研修会 3 回

現在、社協で把握しているボランティア活動者の団体・人数

	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度	令和 3 年度	令和 2 年度
個人ボランティア数	9 名	17 名	18 名	18 名	27 名
「ボランティア活動を主 目的としている団体」の 団体数と所属人数	19 団体 368 名	17 団体 304 名	14 団体 283 名	12 団体 201 名	22 団体 1095 名

「ボランティア活動を主 目的としていない団体」 の団体数と所属人数	5 団体 57 名	7 団体 108 名	15 団体 459 名	13 団体 103 名	10 団体 236 名
合計	24 団体 434 名	24 団体 412 名	29 団体 760 名	25 団体 322 名	32 団体 1358 名

■調査・普及・宣伝・連絡・調整

- 1 各種ニーズ調査 つながり隊アンケート調査実施 期間【11/20～12/20】回収率 84%
- 2 広報紙（ふれあいポケット）の発行（12 回発行）
- 3 ホームページによる情報の提供
- 4 地区懇談会等の開催（1 回実施）

■関連する事業との連携

- 1 民生委員会との連携（12 回）
- 2 保健福祉課との事業連携（連絡会議 2 回）
- 3 町内福祉施設及び事業者との連携（連絡会議 1 回）

■共同募金事業

- 1 世帯 1,000 円（目標）の共同募金の実施

実績	募金総額 2,783,066 円
----	------------------

募金は、福祉車両貸出、福祉教育、広報紙、地域福祉活動やボランティア活動の振興などに活用

■その他

- 1 災害援護事業（災害救援体制の整備）
- 2 日本赤十字社事業への協力
- 3 日赤奉仕団活動への支援
- 4 環境活動への支援
- 5 戦没者追悼式への協力 【7/11】実施
- 6 遺族会への協力
- 7 特定目的の寄付について、その趣旨の沿った事業の実施

実績	募金総額 1,494,512 円
----	------------------

■受託事業

1 家族介護支援事業等

養成講座（オレンジパートナーフォローアップ講座）

オレンジパートナーフォローアップ研修会 参加者 16 名

視察研修

【7/11】長野市三輪地区オレンジカフェ「ひまわり」 参加者 8 名

【7/19】長野市篠ノ井地区オレンジカフェ「しののいカフェ」 参加者 7 名

介護教室

「VR 認知症体験×認知症サポーター養成講座」 全 2 回 参加者 57 名

健康寿命延伸いきいき講座 全 8 回 延べ参加者 94 名

2 在宅介護者リフレッシュ事業

在宅介護者のリフレッシュ（5 回実施）

認知症介護者のリフレッシュ

温泉プラン 【7/16】戸倉上山田温泉 ホテル亀屋本店 参加者 11 名

【10/9】鵜の浜温泉 高台の宿三景 参加者 16 名

【11/22】新潟県 林屋旅館 参加者 10 名

観光プラン 【10/10】上越水族館見学&海の幸どころ 参加者 16 名

体験プラン 【11/6】すざか蔵の街並み散策&古民家食事 参加者 15 名

商品券プラン（1,000 円分） 協力店舗 29 店 利用枚数 161 枚

3 生活支援コーディネーター事業【第1層コーディネーター】

全町的な生活支援・介護予防サービスの実施に向けての体制整備
体力測定会の実施 1回実施 参加者 25名
通所型サービスB従事者研修会 【3/27】諏訪市すわっこランド 参加者 19名
資源開発に関すること
生活支援・介護予防サービス会議への積極的な関与と参加
地域包括支援センター・第2層コーディネーターとの連携、情報共有
通所型サービスB 8か所 延べ利用者 4,855名
訪問型サービスD 7か所
脆弱化の予知・予防に関する研究
通いの場がもたらす介護予防効果の数値化を進めている（協力：NTTドコモ）

4 生活支援コーディネーター事業【第2層コーディネーター】

生活支援サービス等のコーディネートに関すること
有償たすけあいサービス 相談件数 368件 チケット清算数 208枚
利用会員数 48名 協力会員数 20名
脆弱化の予知・予防に関する研究
生活支援・介護予防サービス会議への積極的な関与と参画
地域包括支援センター・第1層コーディネーターとの連携、情報共有

5 結婚相談所運営事業

結婚相談所協力員会議の開催（3回実施）
結婚相談所登録者交流会の開催（12回実施）
（ときめきカフェ、プロフィールの書き方講座、クリスマス会）
婚活パーティーの開催（4回実施）
サンクゼール婚活パーティー【1/25、2/22、3/15】 マッチング 計6組
婚活×移住 北信州の秋 3町村合同イベント【9/28】 マッチング 計3組
長野圏域ポータルサイトへの加入（長野市主催）
長野市・小川村で開催【10/28】 募集：男性・女性各10名 マッチング 2組

長野圏域連携中枢都市圏結婚支援事業、上水内郡移住婚活イベントの開催

	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
結婚相談所登録者数	男性 27名 女性 16名	男性 39名 女性 21名	男性 39名 女性 21名	男性 39名 女性 21名	男性 39名 女性 21名
相談者延べ人数	365名	395名	279名	479名	397名
マッチングアプリ登録者	13名	18名	18名	14名	—
マッチング(システム)	15件	14件	15件	10件	5件
成婚者数	1組	4組	2組	0組	1組

6 子どもの居場所づくり促進事業（てんぐカフェ）

23回開催 延べ参加者 363名 延べスタッフ数 184名
お弁当配達 実施回数 23回 延べ配達数 258食

7 地域住民グループ支援事業

いきいきサロン

	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
地区数	34地区	35地区	34地区	38地区	37地区
開催回数	382回	388回	266回	252回	220回
延べ参加人数	3,611名	3,741名	2,318名	2,235名	2,212名

つながり隊（隊長研修会・地区福祉学習会の開催）

隊長会議【3/1】 地区福祉学習会 25 回 健康づくり 4 回 お楽しみ食事会 28 回
オレンジカフェ（認知症カフェ）12 回 延べ参加者 230 名 パートナー121 名

8 「食」の自立支援事業（高齢者） 延べ12,617 食（実利用者 75 名）月平均 1,051 食

9 「食」の自立支援事業（障がい者）延べ1,538 食（実利用者 8 名）月平均 128 食

10 緊急宿泊支援事業 利用者 0 名

11 障がい者の理解、啓発普及事業（あいサポート運動等）（1 回実施） 北部高校

12 健康づくり啓発事業（ウエルネススポーツ吹矢）
ウエルネススポーツ吹矢大会【6/28】 参加者 19 名

13 運動機能向上訓練事業（多世代交流施設、いづなコネクトパワリハ管理運営）
インストラクター代表者会議（4 回実施）
インストラクター研修会（7 回実施）【5/15、8/7、9/10、12/14、12/23、2/15、2/20】
準インストラクター養成講座【4/16、3/1】 受講者 6 名
パワリハビリ新規利用者説明会（5 回実施）参加者 18 名

	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度	令和 3 年度	令和 2 年度
メーラパワリハ	3,942 名	3,918 名	3,971 名	3,387 名	2,265 名
赤東パワリハ	1,760 名	1,564 名	1,494 名	1,173 名	
高岡パワリハ	2,461 名	2,362 名	2,194 名		
合計	8,163 名	7,844 名	7,659 名	4,560 名	2,265 名

14 i バスバスヘルパー業務（毎週水・金午前 2 ルート） 年間 101 日 1～2 名ずつ乗車

15 生活困窮家庭の子どもに対する学習・生活支援事業【県からの受託】 支援件数 1 件

16 就労サポート支援事業 作業回数 107 回 延べ参加者 258 名 実利用者 11 名

17 福祉事務所未設置町村一次相談窓口事業 相談延べ件数 1,687 件 実相談者 178 名
支援会議出席 8 回

■課題等

- ▷これまで埋没していた潜在ニーズや複雑多様化する相談に対応できるよう、組織の支援体制の強化が必要である。
- ▷新型コロナウイルス感染症の影響により地域のつながりが数多く失われた。住民の地域福祉の考えも変化しており、これまでとは違う新たなアプローチによる取り組みも必要である。
- ▷通いの場、サロン、ボランティア団体等の地域福祉の担い手である支援者が高齢化などにより減少している。

3 居宅介護支援事業（ケアマネジメント）

■重点目標

ご本人が望んだ場所で、必要な支援を、必要なタイミングで利用ができるように支援を行います。

- ▷BCPは作成したが、災害時等に対応するための個別台帳の整備ができなかった。
- ▷地域包括ケアシステムの推進として、地域ケア会議、医療連携会議、民生児童委員会等の関係事業所参集の場へ積極的に参加し、個別課題から地域課題までの解決に向けて関係者と連携を図ることができた。

■課題等

- ▷BCP個別台帳の整備を進めたい。
- ▷町包括支援センター等が主催する会議や研修には職員全員で参加し、町や他法人との連携、協力を深めたい。
- ▷通院付き添いや行政等への手続き代行など、介護保険や現状のインフォーマルサービスではカバーしきれない部分を対応することが増加している。ケアマネジャーの本来業務を明確にし、ほかのサービスで充足できる本来業務外業務への対応の見直しを図り、ケアマネジャーの負担軽減と効率化を図りたい。
- ▷法人内でケアマネジャーを養成するべく、試験情報や合格後の法定研修に関する情報を配信し、受験資格のある職員へ受験を促したい。

4 ふれあいの園

■重点目標

利用者が望む生活が実現できるよう、利用者の価値観や意向を考慮したサービスの提供を行います。

① 根拠に基づいた質の高いサービス提供

- ▶利用者、家族、ケアマネジャーからニーズの確認をするため担当者会議への出席や連絡帳、送迎時、利用時など情報収集に努めた。
- ▶職員間での情報共有を行う為、日誌、個人記録への記載、担当者会議の資料作成、会議、朝礼等で情報の共有化に努めた。
- ▶LIFEからの情報の活用の為、必要情報を集め、LIFEへの情報入力を行った。
- ▶定期的な内部研修の実施の為、毎月の会議に併せ計画的に実施し参加率アップを図った。

■課題等

- ▷LIFEへ情報を入力し、フィードバックを受け取ったものの、十分活用するに至らなかった。研修を重ね、活かせる知識や技術の習得を図りたい。
- ▷ニーズ、LIFEのフィードバック、研修で得た知識と技術を結び付け、個々に適した個別ケアの提供に努めたい。

5 むれデイサービス

■重点目標

誰もが安心して過ごすことができ、地域社会の一員として尊厳を持って生活ができるよう支援します。

① 認知症のある利用者への対応強化

- ・認知症に対する理解と対応などネット研修を活用しフォローアップ

▶ネット研修や資料、会議等で認知症の理解を進めてきたが、認知症の症状により対応は様々なので、継続して研修を重ね理解を深める必要がある。

② 利用者ニーズの把握と課題解決に向けた取り組み

- ・利用者ニーズ把握のため、職員による聞き取りの実施
- ・チーム会議による職員共有と課題解決のための検討

▶ニーズ把握の為、担当者会議やチーム会議等で共有を図り、担当の生活相談員を中心に課題解決に向けて取り組んだ。

③ 地域住民や外部団体との交流

▶小・中学生、高校生等との交流の機会が持てた。ボランティアの関わりは大きく、レクリエーションや日々の活動の場面で地域住民との交流が図れた。

■課題等

- ▷重度の方の入院が相次ぎ、新規利用者も少なく利用者が減じた。一方信濃町からの利用依頼が増加。柔軟な対応と受け入れ態勢を整え、安定したサービス提供に繋げたい。
- ▷疾患について理解を深め、サービス提供ができるよう研修を行い、関係機関との連携を図り専門職として根拠に基づいた介護を実践していきたい。

6 訪問介護（ホームヘルパー）

■重点目標

安定した在宅生活が継続できるよう、質の高いサービス提供と災害や感染症への対策強化を図ります。

- ▶関係機関との連携を図り、必要とするサービスの理解や利用者の支援変更等タブレット記録や指示書を活用し情報共有を行った。またサービス提供責任者と同行訪問を行うことでサービスの目的・必要性・支援内容の確認が出来、業務の標準化が図れた。
- ▶新型コロナウイルス感染者への対応による職員への罹患があり、感染対策の重要性を再認識した。
- ▶予定していた地域の防災訓練は台風接近に伴い中止となり、机上訓練となった。

■課題等

- ▶複合的課題を抱える利用者が増加する中、更なる利用者やケアプランの理解、職員研修や同行訪問の必要性を感じる。
- ▶自然災害時への平時からの備えや訓練の実施。関係機関との情報共有や感染症対応の継続。
- ▶町外移送サービスの利用増加に伴う対応時間の増加により訪問予定調整が困難。

7 グループホームわが家

■重点目標

認知症になっても住み慣れた飯綱町で、人とのつながりを持ち、安心して生活できるよう利用者一人一人の個性や思いを大切にしたい支援を行います。

- ▶誕生日や希望外出の際に、希望を聞き好きな物を食し行きたい所へ外出する機会を設け個別対応が出来た。共同生活の中で自分の役割や生きがいが見いだせるよう情報収集を行い職員間でも共有し支援に繋げた。
- ▶畑で野菜作りを行い、収穫祭やヘチマたわし作り等をとおり季節を感じる生活が送れた。
- ▶ふれあい広場では「わがや商店」を開店。店員として生き生きと対応することができた活躍の場で地域住民との関りが持てた。

■課題等

- ▶運営推進会議（6回/年）に利用者家族の出席率が低く、開催日程や方法、内容など改善が必要。定期受診や緊急対応時の際にも協力が得られないケースが増え、職員でそれに応じる必要性を感じる。
- ▶個別対応が必要な利用者が増して、共同生活の場において限られた人員で皆に寄り添う時間確保が困難。
- ▶利用者のケアに対して職員のスキルアップと設備改善が必要。

8 りんごパーク

■重点目標

ADL維持が実感でき、生活に張り合いが持てるよう支援します。

① 利用者個々の目標に沿える機能訓練を実施する

② 日頃の運動の成果が実感できる機能訓練外出の機会を作る

- ▶利用者との関わりを大切に、日々の様子や身体状況を職員間で共有しながら機能訓練を行うことができた。増加傾向の認知症やパーキンソン病の方への支援については、内部会議や家族とも連絡を取り合う中で不安要因を解消しながら利用が定着するよう努めた。
- ▶飯山方面への外出訓練を行い、慣れない場所での歩行や食事、買い物などで日頃の運動の成果を実感していただくことができた。

■課題等

- ▶認知症やパーキンソン病など疾患についての理解や対応方法を深めたい。

9 さみずの郷

■重点目標

心身の健康維持及び生活が豊かになるように、介護予防の拠点としての取り組みを行います。

① 下肢筋力強化による転ばない身体づくりを目指す

② 日常生活の課題に対する支援

- ▶利用時には自身のやるべきトレーニングを理解して行っている様子が見られ「郷トレ」が定着してきている。大きな転倒等の報告もなく、現状維持ができています。
- ▶秋には一日かけて飯山方面への外出訓練を行い、歩行器、杖等使用しながら慣れない道を歩行したり、買い物では広い店内を品物を求め積極的に移動する姿が見られた。
- ▶フレイル予防講座では、聞き慣れない言葉については個々に職員が説明することで理解を得た。

■課題等

- ▶利用期間の長い方の健康状態や生活状況の変化を見極め、無理のない運動を継続していただくために日々の言動等に注意しながら関わる大切と思われる。
- ▶事業所内にとどまらず地域へ出ていくことで運動の成果を実感したり、楽しみとなるようにしていきたい。
- ▶フレイル予防講座での学びを生活の中で実践していただけるよう声かけをしていきたい。

●受託事業

飯綱町介護予防事業

お元気くらぶ

すてきなおやじさんくらぶ

フレイル予防講座

参加者 第1クール 41名・第2クール 43名

参加者 15名

参加者 実52名（延747名）